

令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	2. 美術館一般管理費
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
経常	単独	通常	0	0	27,011	実施計画		-	-
								-	-
								-	-
								-	-
								-	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	2,878	
本年度当初査定額	2,878	29,695

財源内訳	使用料及び手数料	諸収入				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				2,878	△2,878
本年度当初査定額	2,475	403				0	26,817

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 美術館運営協議会の開催のほか、機器保守点検及び施設管理等委託を実施するなど、年間を通じて安定した美術館の運営を継続します。</p>	<p>(事業の目的) 美術館の適正な管理運営により、利用者が美術に親しむことができ、憩いの場となる空間を提供します。</p>	<p>(事業の効果) 施設の機能を維持管理することにより、一般来館者や市民ギャラリー及びホール利用者が安全かつ快適に館内で過ごし、また展覧会などの催しを行うことができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 施設の老朽化にともない、故障時の対応だけでなく計画的な予防措置が重要です。機器の修繕費が多くなるため、どの段階で交換すべきか予算を考慮した判断が難しくなっています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 会計年度任用職員制度への移行に対応しました。消費税の上昇等の要因があり、事業内容の見直しを行っています。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 施設の維持管理は利用者の安全のために必要不可欠です。快適な施設空間を提供することにより市民ギャラリー・ホールの利用者だけでなく、来館者及び市民の満足度も向上します。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	4,808	153	4,655
08	600	88	512
10	19,308	19,388	△80
11	717	715	2
12	3,756	3,950	△194
13	322	307	15
17	109	321	△212
18	75	75	0

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	14	01	08	04	01	00	社会教育施設占用使用料	991	991	1,262	△271
	14	01	08	04	13	00	美術館施設使用料	1,484	1,484	1,392	92
	21	05	04	01	07	00	書籍等売払収入	372	372	372	0
	21	05	04	01	50	05	コピー機使用料	1	1	1	0
	21	05	04	01	50	20	自動販売機設置電気料	30	30	18	12
差引一般財源								△2,878	26,817	△3,045	29,862